

Tokyo スイソ推進チーム 水素エネルギー見える化実行委員会の活動について

1 Tokyo スイソ推進チーム水素エネルギー見える化実行委員会について

- 水素エネルギーの普及に向け、民間企業や都内自治体等と東京都とで「Tokyo スイソ推進チーム」を発足
- 2019年度から2021年度に「水素エネルギー利用の見える化」を実施するため、趣旨に賛同する団体の参加のもと、見える化の実施に必要な企画及び運営を行う「Tokyo スイソ推進チーム水素エネルギー見える化実行委員会」を設立

2 2021年度事業の内容

(1) オンラインによる普及啓発（小学生向け）

○実施内容

- ・環境学習型のオンラインイベント
- ・参加する子供たちが企業の「社長」となり、実行委員会の企業や大学との「戦略会議」を行った後、「プログラミング」を活用し、水素や地球について自分で考え、学ぶ

○実施時期

- ・令和3年8月21日（土）、22日（日）

○実績

- ・参加人数（2日間合計）は約150名



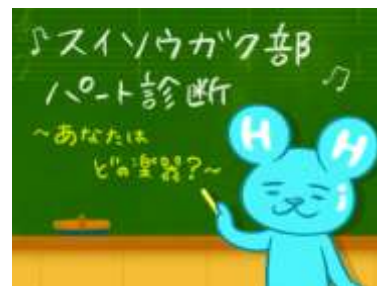
(2) オンラインによる普及啓発（コンテンツ制作①）

○診断ゲーム「スイソウガク部 パート診断 ～あなたはどの楽器？～」

- ・水素と吹奏楽をテーマとした診断ゲーム
- ・水素や日常の行動等に関する設問に回答するとおすすめの楽器を表示
- ・診断結果はSNSに投稿できるようにし、情報拡散と実行委員会HPへの誘因を図った

○実施時期

- ・令和3年7月16日から実行委員会HPに掲載



©keigo

(3) オンラインによる普及啓発（コンテンツ制作②）

○漫画コンテンツ「MANGA DE SUISO」

- ・イベントの告知に合わせて、水素に関する漫画を制作
- ・SNSのインフルエンサーを作者に起用



©ミハイロ

- ・作者のインスタグラム等からも発信し、実行委員会 HP への誘因を図った。

○実施時期

- ・令和3年7月16日から実行委員会 HP に順次掲載（全3回予定）

(4) 水素エネルギーによるライトアップ

○実施内容

- ・都民が集まるライトアップイベント「創エネ・あかりパーク 2021」に出展協力
- ・水素エネルギーをテーマとしたプロジェクトへの電源供給のため、燃料電池自動車を提供

○実施場所

- ・上野恩賜公園

○実施時期

- ・令和3年11月3日（水）～7日（日）

○実績

- ・参加人数（5日間合計）は約96,000名



(5) 聖火台での水素利用の促進

○実施内容

東京2020大会の聖火台における水素の活用

- ・聖火台における水素活用に係る経費（材料費等）の一部を負担
- ・有明聖火台周辺において水素エネルギーの広報・PRを実施



(6) オンラインによる普及啓発（一般の方向け）※今後実施予定

○実施内容

- ・オンラインによる水素関連施設の紹介

○実施時期

- ・11月下旬～

3 会議開催

○総会

- ・参加団体数：36団体
- ・開催日：令和3年4月27日（書面開催）
- ・今後開催予定：令和4年3月（書面開催）

○幹事会

- ・参加団体数：18団体

- ・開催日：令和3年4月27日（書面開催）
- ・今後開催予定：令和4年3月（書面開催）

4 2021年度予算額

○合計 99,700 千円

以上